

## 2 目 標 達 成 計 画

事業所名 松 風 の 里

作成日 平成22年8月6日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員全員に防災意識をつける。防災意識が職員によって、ばらつきがある事が問題と考える。	職員全員が共通の防災意識を持つ。運営推進会議メンバー（近隣の住人）も消防に協力願う。	消防法で決められた消防訓練だけでなく、随時屋内消火栓の操作・夜勤の際、館内に煙が出ていないか見回りを自発的に頻回に行う。継続する。近隣の住人も消防訓練に参加して貰う。	3ヶ月
2		「統一された介護」の意味が職員全員に伝わりきっていない。	職員が「組織人」として判断・行動する。	「組織」を理解させる。「介護方針」はトップ&ダウン方式で全職員が同じ介護で臨む。そして、入居者に「変化」「異変」があったら、即リーダーに報告するように職員を指導する。また、職場環境も報告するのを当然とする流れを作る。特に新入職員が気付いたのを報告出来るようにする。リーダーは入居者の「変化」をケースカンファで職員と協議する。対策をとる。	1年間
3		感染症の知識をつける。一人の職員が感染症に関して無知・無関心であるために、感染拡大が起こるので、全員が共通した感染症知識と実践に努める。	感染症に関する知識を身につけて感染防止に努める。	口蹄疫感染防止を事例に、感染拡大とは何か、感染ルートとは何かを勉強してする。	1ヶ月
4		職員に入居者に関する基本的な医療知識を身につけて貰う。医療知識がなければ、入居者の様子報告・バイタルでも意味をなさない。	医療知識を身につけて介護に役立てる。高齢者は、何らかの病気・慢性疾患を持っているので、病気と共に長生きするを目標にする。	一つ・一つの病気を「具体例」として、勉強会で学んでいく。	1年間
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。